

Feng-Shui Gallery

special edition vol.92

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『色彩による空間イメージの変化』

～白い壁の空間との比較・オフィス編～

<2>白い壁

<2>色彩有り

<3>白い壁

<3>色彩有り

<1>色彩有り

<写真 1>壁が白い空間の場合、照明の光が届かない壁面が灰色になっており、暗く寒々しい空間イメージになりやすいです。壁に色彩があると、光が届きにくい部分も灰色ではなくなる為、明るいイメージを保つことが可能です。<写真 2>部屋の隅にあたる場所は気の流れが滞りやすい為、天井照明やスタンド照明などを配置して、重点的に明るくすると気の流れをスムーズにすることができます。奥まった位置にある壁が明るい、その空間全体を明るいイメージにすることができます。<写真 3・4>現在のオフィス空間は、白い明かりの LED 天井照明が取り付けられていることが多く、その明かりが白い壁に反射することで集中力を欠く原因にもなる為、壁に色彩をつけることは職場環境を整える際にとても重要です。LED 蛍光灯を使用しているオフィス空間の場合は、暖色系の蛍光灯に変えるだけでも、空間イメージを変えることができます。

<4>白い壁

<4>色彩有り

<1>白い壁

明るい色彩で構成された空間と、彩度を下げたシックな空間とで、視覚的にどのようなイメージの違いがあるかを見てみましょう。